

あいち農産物生産流通レポート

平成21年12月号

情報サロン		
・第48回農林水産祭「実りのフェスティバル」で愛知産農産物をPRしました	(食育推進課).....	1
地域トピックス		
・平成21年度愛知県茶業振興大会等が開催されました	(新城設楽農林水産事務所).....	2
東日本情報		
・大田市場での初めてのトップセールス「旬菜・旬花 まるごと『あいち』交流会」が行われました	(東京事務所).....	3
西日本情報		
・平成21年度 第1回卸売市場活性化実務講座について	(食育推進課).....	5
フラワーページ		
・あいちの花育「フラワー・ブラボー・コンクール」について	(中日新聞社 普及事業部).....	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2009年9月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

第48回農林水産祭「実りのフェスティバル」で愛知産農産物をPRしました

平成21年11月6日(金)～7日(土)に、農林水産業と食に対する国民の理解と認識を深めるためのイベント「第48回農林水産祭 実りのフェスティバル」が東京都江東区の東京ビックサイトで開催されました。

(主催：農林水産省・日本農林漁業振興会)

このイベントは、都道府県及び農林水産関係団体が参加し、全国各地の農林水産物の宣伝、紹介と即売を行うもので、初日には秋篠宮同妃両殿下が来訪され、2日間で4万2千人の来場者で賑わいました。

本県産農産物をPRするため、愛知県農産物需要拡大推進協議会(構成：JAあいち経済連・愛知県)は、首都圏で販売を強化している品目を中心に青果物10品目、加工品1品目、花き2品目等の展示、即売を行いました。



愛知県の展示・販売ブース

PRの状況は次のとおりです。

キャベツ

ごま油和えの試食が好評。キャベツの甘さを感じるとの感想が多かった。

トマト類

イエローミニトマトの試食が好評。ミニトマト(赤・黄)の販売が好調だった。

おおば

試飲は「さっぱりしてる」と好評。ジュースを自宅で作るため10パック購入する来場者もあった。

ぎんなん

量り売りより、箱で購入する来場者が多かった。

花き(シクラメン、切花)

シクラメン、切花ともに好評で、特に鉢花は1日目に大多数が販売できた。

キャベツ、ふき、ぎんなん、おおば、花きで愛知県が日本一の産地であることを知っている来場者はごく一部でした。

試食等では愛知県の青果、花きの品質に対して来場者からは高い評価を得られたため、産地名を印象付け、ブランドイメージを確立するための取り組みが今後とも必要であると思われました。

地域トピックス

新城設楽農林水産事務所

平成21年度愛知県茶業振興大会 愛知県茶業連合会設立60周年記念生産者大会

が盛大に開催されました

愛知県茶業振興大会は、愛知県、愛知県茶業連合会及び開催市町の共催により、ほぼ毎年、県下の各産地において開催されています。本年度は、平成21年11月14日(土)に、本県最大のせん茶産地である新城文化会館(新城市)において、県内の生産者など約300名が参加して行われました。

振興大会では、第41回愛知県茶品評会の表彰式が行われ、大会長賞を受賞された80名を代表し、普通せん茶の部1等1席に輝いた中西都夫さんへの賞状授与や特別賞受賞者16名、産地賞1産地への賞状授与が行われました。

また、今年は愛知県茶業連合会設立60周年にあたり記念の生産者大会も併せて行われ、長年本県茶業の振興、発展に尽力された方々(愛知県知事表彰19名、愛知県茶業連合会長表彰41名、会長感謝状3名)に対し、表彰状、感謝状の授与も行われました。

式典会場周辺では、出品された優秀な茶や機資材の展示、新城産せん茶のふるまいが行われ、興味深く見入っている生産者の姿が見受けられるとともに、午後からは、記念講演会も行われ、参加者は今後のお茶戦略について熱心に聞き入っていました。

なお、参加者への昼食には、地元産の食材にこだわった作りたて熱々の五平餅や八名丸里芋汁などが用意され、地元の暖かいもてなしに参加者全員舌鼓をうっていました。



主な品評会受賞者の方々



品評会出品茶の展示



昼食風景

大田市場での初めてのトップセールス 「旬菜・旬花 まるごと『あいち』交流会」が行われました

愛知県産秋冬野菜販売が本格化した平成21年11月19日(木)に、大田市場でのトップセールスが、知事及びJAあいち経済連会長、JAあいち知多、JAひまわり、JA豊橋、JA愛知みなみ、豊橋温室園芸農協の組合長などにより行われました。

午前6時30分、知事を始めとするセールス集団がお揃いの黄色い法被に身を包み、東京青果(株)のマンモス競売場前に設置された展示ブースで試食提供を始め、知事や組合長自らが、イチゴやミニトマトなどが盛られたトレーを持ち、セリ前の買参人の皆さんに試食を勧めました。



試食を振る舞う知事

今回のトップセールスでは、日本ベジタブル&フルーツマイスター協会にもご協力をいただき、関東を中心に活躍されている2名の野菜ソムリエ(上原さん、霜村さん)に試食メニューの提案と当日のセールスをお願いしました。試食内容は、ミニトマト、イチゴ、次郎柿、煮ふき、大葉ジュースなどの定番品のほか、野菜ソムリエの方に提案いただいた「愛知産ハーブグリーンサラダのイチゴドレッシング添え」と「愛知産冬キャベツのバジル味噌マヨネーズ添え」です。



イエローミニトマト

ハーブグリーンサラダ

キャベツのバジル味噌マヨネーズ添え

午前6時40分、愛知のセールス集団は約150名の買参人が立つマンモスセリ台に整列し、知事は「東京都民の台所として大田市場の活気を感じる。愛知県産品の出荷が本格化するが、安全・安心に一生懸命取り組んだ農産物をしっかりと送り届けたい。」とあいさつしました。引き続いてJAあいち経済連の倉内会長から過日の台風被害に対

するお見舞い御礼と「責任産地として総力を挙げて取り組み、より消費者に信頼していただける産地を目指します。」と力強く宣言しました。

その後、大田市場内にあるホテルコムズ大田市場において、京浜地区の主要卸売会社代表者20人（青果13社、花き7社）をお招きし、県産食材を使った朝食を食べながらの意見交換会を開催しました。

この日の朝食は、ホテルに特別に用意していただいた「愛知産朝定食」。この定食につかった食材はふきやトマト類、大葉、ぎんなん、イチゴなど青果20種類のほか、うずらの卵、蜆、あいちのかおり（米）です。ここでも、「野菜ソムリエの一品」としてご提案のあった「あいち野菜ロール」を加え、ソムリエの2人から提案メニューの説明と日頃の取り組みをお話しいただきました。

意見交換会では、東京青果(株)大井副社長から「ビジネスモデルが大きく変わっている。消費者や量販店が望むものを川下視点からの確に捉えて、いかにスピーディーに対応するか。これができないと卸も産地も伸びていかない。是非とも協力してやっていきたい。」と要望が出されました。

大田市場でのセールス終了後は、県、経済連、各農協が2班に分かれて、大手量販店である“東急ストア”と“ライフコーポレーション”の本社に販売促進要請活動に出向きました。各社の農産担当者からは、産地フェアを通じて盛り上げていきたいという要望が出されました。

東京でのトップセールスは、昨年に引き続いて2回目ですが、首都圏という巨大消費地において、本県の生産地としての役割は重要です。昨年から続く不景気感はなかなか拭えませんが、少しでも県産農産物の消費を増やすための取り組みを継続して行き、産地振興に繋げていきたいと思っております。



セリ台での知事あいさつ



交流会会場内の様子



愛知産朝定食

平成21年度 第1回卸売市場活性化実務講座について

卸売市場のせり人に対して、生鮮食料品等の流通等に関する幅広い知識を習得してもらうために、第1回目の講座を愛知県三の丸庁舎で開催しました。

講座では、食育推進課から食育の推進についての講義の後に、名古屋青果株式会社取締役管理本部長の今枝健二氏から、「せり人の心得について」という演題で、営業活動での失敗談を事例とし、せり人の心得について講演がありましたので、紹介いたします。

1 わたしの失敗談

腐ったミニトマト

入社1年目に部長命令によりミニトマトを販売することとなった。

産地との契約内容は1パック350円、毎日の出荷量は400~1,500パックで、販売先は、仲卸と八百屋（八百屋へは、買参人電話帳で売り込み）であった。

その当時、ミニトマトは消費者になじみがなかったため、思うように販売できず、売れ残りを冷蔵庫に入れ、翌日は売れ残り当日の入荷分を販売することになった。この悪循環により在庫が増え、最終的に商品は腐り、400万円の損害が発生した。

これに対して会社からは叱られなく、なぜか同期入社でボーナスが一番多かった。（退社を考えていたが、思いとどまった。）

レタス怖~い

せり人免許取得1年目に洋菜類全般を担当することとなった。

レタスで販売苦戦、経済連からは1,500円以上との要望であったが、仲卸希望価格1,400円以下（他の卸も1,400円で販売）であり、1,400円で販売し、経済連へ市況報告したところ「1ヶ月間名古屋青果向けの出荷停止」で「1ヶ月間出入り禁止」となった。

1ヶ月後に訪問し、「もっと生産者と経済連のことを考えろ」といわれた。

この時、相場とは「携わる人の気持ちの最大公約数で妥協点をさぐる」とだと学んだ。

お天気とキノコ工場

次に、しいたけを除く菌茸類（えのき、しめじ等）を担当した。

他の品目に比べて天候に左右されず、数量、品質、価格が安定しているため、産地とバイヤーと協議し、長期の契約販売を行うこととした。



講演する今枝氏

ところが、菌茸類も寒いと成長が遅く、暑いと品質低下し、寒いときに消費が伸びるため、契約どおりの販売ができなかった。

このため、契約条件の見直しや、生育状況等の情報を共有し取引量の調整をすることとした。

この事例では、産地、卸、バイヤーの「共同の失敗」ということで、みなで修正を行いながら、取引を継続することができた。

キュウリの気持ち

キュウリは幼果を食べている。せっかくならばおいしく食べて欲しい。

輸入野菜が増加していた時、キュウリの価値は何か？を考え、産地とバイヤーで検討し、鮮度をアピールするため、いぼ落ちしていないキュウリを販売することとした。

キュウリの新出荷方式として1タッチ収穫(コンテナを複数用意し、収穫の際に選果する)とコンテナ流通を導入するとともに、価格は1本2円高で設定した。

産地からは「収穫作業に手間がかかる」。店舗からは「当日売れ残れば翌日販売となり鮮度のメリットがない」との意見がでたが、消費者からのニーズもあり、現在でも取引は継続されている。

継続の秘訣は、失敗するだろうが産地、卸、バイヤーが諦めないという気構えである。

栗きんとんの原料は

岐阜県の中津川市、恵那市の和菓子店での栗きんとんの販売は、9月から2月までである。栗の収穫は8月下旬から10月上旬であり、仲卸が冷蔵庫に栗を保管し、和菓子店に出荷している。

収穫や市場までの運送のミスが重なり、出荷した栗の一部が醗酵してしまい、和菓子店からクレームがあった。損失補償の負担割合についてJA、輸送業者、卸、仲卸で協議したが合意が得られなかった。

しかしながら、生産者と和菓子店は、日頃からお互いを相互訪問し、交流を深めており、生産者から損失の一部を補填するという提案があり、負担の割合はJA(43%)、輸送業者(29%)、卸(23%)、仲卸(5%)で解決できた。

このことから、栗きんとんの原料は、「栗」「砂糖」の他に信頼関係とそれを創造維持する努力というエッセンスである「塩(汗)と鉄(お金)」が加わっていると感じた。

2 最後に・・・(失敗から私が学んだこと)

チャンスをくれたのは人だった

失敗を助けていただいたのは人だった

一生懸命の失敗なので助けていただいた

仕事でも個人でも人との付き合いは一緒

人との関係づくりには行動にある

せり人は、情熱と行動と信頼という土台を築かなくてはならない

あいちの花育「フラワー・ブラボー・コンクール」について

1 フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）とは

これは、愛知県をはじめとして中部地方の7県1市が行っている、小中学校を対象とした花壇コンクールです。

その開催趣旨は、花作りを通じて子供達のやさしい心を育て情操教育に資するとともに、学校及び地域の環境美化を図るなど、学校と地域との連携を図ることも目的としています。

愛知県は昭和40年から参加し、学校を核とした子供達の花作りの取組を積極的に奨めてきました。

2 FBCの内容

参加県・市と組織する実行委員会が、参加校に草花種子を無償で配布し、子供達に種から植物を育ててもらい花壇作りを行うもので、春の4月と秋の9月に審査を行い、各々表彰式を行います。

他に、花壇設計図コンクール、花壇に関する写生・作文コンクール、地域花壇のコンクール等も行い、学校教育の多くの分野に花が活用できるように計画しています。

各学校では、理科の時間はもちろん、図工の時間に花を写生したり、国語の時間に花に係わる作文を書いたり、総合の時間に花壇の花を教室に飾ったり、花で布を染めたりと、いろいろな形で花に親しんでいます。

3 FBCの効果

学校の先生方からは、「子供達が水やり当番など責任をもって行うようになった」とか、「高学年の児童が低学年の児童に花の世話の方法を教え、共に作業するようになった」とか、「子供達が花を好きになった」というような話が聞かれ、花作りを通して、子供達の責任感、おもいやり、協調性等が養われている様子が伺われます。

4 あいちの花育「FBC」

最近、「花育」という言葉がでてきましたが、FBCはまさに「花育」の一つです。

子供達の情操教育や、花を通じて命を大切に作る心、優しい心を育てる花育「フラワー・ブラボー・コンクール」に、多くの小中学校に参加してほしいと考えています。



花壇への花苗の植え付け



秋花壇の様子

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	2,623	1,898 (72%)	366	359	茨城 (24%)
21年見通し	2,400	-	380	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛西市を始め海部地区を中心に入荷。 夏場の日照不足から肥大が遅れ、数量不足で平年の6～7割しかない。サイズはM、S中心。下旬に品薄による価格の上昇が予想される。茨城は愛知ほどの不作ではない。品種は、愛知が備中ロータス中心だが箱詰め、販売のしやすさからダルマ系がよく出ている。</p>			<p>暖冬傾向で煮物の材料は厳しい販売環境が予想される。従来の調理法に加え、火を通さない食べ方を提案して、生食には向かないため、ペースト状にしてみそ汁の具材にするなどの食べ方を提案していくことが必要ではないか。 例年出荷時期が集中しているため、ピークを作らず価格維持する等工夫も必要である。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	680	149 (22%)	359	371	茨城 (35%) 愛知 (22%) 静岡 (13%)
21年見通し	430	-	320	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>茨城の秋作は終盤を迎え、本県産と静岡からの入荷が増加してくる。 本県、静岡とも台風18号の影響で生育が遅れており、11月下旬から12月上旬にかけて入荷量は少ない見込みである。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込みである。</p>			<p>サニーレタスは業務需要のウエイトが高い。他県産地のレベルが上がっているため、生産量を確保しより一層の安定出荷をお願いしたい。 切り口の処理、低温輸送などの鮮度保持はもちろんのこと、色づけにも十分注意して出荷して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	16年	37,973	190	191	180	199	愛知 31%
	17年	37,972	204	170	188	255	北海道 26%
	18年	38,895	183	156	184	208	茨城 6%
	19年	38,266	199	194	187	218	長野 4%
	20年	37,803	206	203	200	216	
	5カ年平均	38,182	196	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	36,300	203	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>愛知など秋冬物の入荷が本格化。夏の天候不良、日照不足から土ものの生育は不作傾向。葉菜、果菜への台風の影響は品目によって一部あり、年明け以降に本格化する品目も出る見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>				
だいこん	16年	2,563	67	80	66	58	千葉 42%
	17年	2,414	72	45	71	99	愛知 38%
	18年	2,130	47	42	47	51	静岡 9%
	19年	2,274	65	71	64	59	徳島 8%
	20年	2,348	71	82	71	59	
	5カ年平均	2,346	65	65	64	66	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,300	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>産地は愛知、千葉中心。下旬に徳島、静岡が出てくる。愛知、千葉は作付面積減少傾向だが生育よく肥大すすみ良好。台風の影響は少なかった。寒さが本格的にならないと消費は鈍い。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>				
にんじん	16年	2,227	158	159	161	154	愛知 68%
	17年	2,519	97	84	88	124	岐阜 13%
	18年	2,828	69	67	66	74	千葉 10%
	19年	2,828	89	102	75	94	北海道 6%
	20年	2,644	95	103	91	90	
	5カ年平均	2,609	99	101	93	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,600	95	100	95	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>産地は大幅に移行し、地元愛知の出荷がピークを迎える。千葉、岐阜。岐阜は上中旬で終了。生育は順調で、順調な出荷が見込まれる。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>				

東京都中央卸売市場

11月20日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	16年	138,283	210	216	203	212	千葉 20% 茨城 18% 北海道 14% 愛知 6% (愛知産比率 6%)
	17年	137,544	229	181	214	288	
	18年	140,412	202	173	199	232	
	19年	139,477	222	212	216	237	
	20年	139,352	225	221	218	236	
	5カ年平均	139,014	218	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	139,280	206	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。11月までは天候不順や低温などの影響で品目により入荷量が大きく変動したが、12月に入ると出荷量は回復し安定化する予想である。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	16年	14,472	63	70	62	59	千葉 47% 神奈川 44% 徳島 3% 茨城 2% (愛知産比率 0%)
	17年	13,862	64	43	59	85	
	18年	12,872	45	39	42	54	
	19年	13,905	64	67	62	62	
	20年	13,132	68	78	68	59	
	5カ年平均	13,649	61	60	59	64	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	13,400	65	55	65	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は台風被害もなく概ね順調である。神奈川は遅れていた生育は回復しており、順調な仕上がりとなっている。 入荷量は前年をわずかに上回りで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
にんじん	16年	8,452	152	152	160	146	千葉 76% 埼玉 8% 茨城 7% 香川 3% (愛知産比率 0%)
	17年	8,861	105	83	92	137	
	18年	9,905	73	68	70	82	
	19年	10,046	100	103	93	104	
	20年	8,877	110	114	102	117	
	5カ年平均	9,228	107	103	102	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,200	90	85	90	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心に関東産地からの入荷となる。千葉の生育は概ね順調で入荷は少なかった前年を上回る見込み。埼玉は生育は概ね順調であるが、一部で降雨による品質低下が見られる。茨城も生育順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	16年	3,633	72	74	68	73	愛知 56%
	17年	4,117	67	54	64	79	茨城 29%
	18年	3,834	48	42	50	50	長野 8%
	19年	3,914	58	54	58	61	
	20年	3,965	65	61	65	68	
さい	5カ年平均	3,892	62	57	61	66	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	21年見通し	3,800	60	55	60	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心、他に茨城など。愛知の作付面積は減少しており、台風の被害もあまりなく、前年並みの出荷が見込まれる。茨城の生育は順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格はかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	2,921	106	129	102	89	愛知 86%
	17年	2,961	120	76	108	173	茨城 11%
	18年	3,271	40	32	45	44	兵庫 1%
	19年	3,419	74	70	79	73	鹿児島 1%
	20年	3,387	107	116	104	101	
さい	5カ年平均	3,192	88	84	87	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ツ	21年見通し	3,300	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知を中心に、一部茨城。台風18号の影響は、その後の天候回復から年内出荷分は影響がなくなるまでに回復し、順調な出荷を見込む。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かったぜんねんを大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	584	300	414	278	228	愛知 89%
	17年	346	577	385	588	879	群馬 4%
	18年	487	280	246	310	277	徳島 2%
	19年	490	337	388	342	284	岐阜 1%
	20年	437	410	480	404	352	
さい	5カ年平均	469	365	382	367	369	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ん	21年見通し	450	350	300	350	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、他に群馬、徳島。愛知は天候に恵まれ、は種も順調、生育良好。中旬には出荷も潤沢になる見通し。安値も年末に向け徐々に回復する見込み。 入荷量はわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	16年	15,102	47	50	45	47	茨城 97%
	17年	15,523	44	36	39	56	群馬 1%
	18年	14,307	29	25	29	32	埼玉 1%
	19年	14,951	39	37	37	43	
	20年	14,844	48	47	47	49	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均 21年見通し	14,900	45	40	48	48	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷でほぼ全量を占める。茨城の生育は台風により外葉の傷みがみられるが結球は順調である。早生から中生への切り替わり時期の入荷はやや少ない見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきさいの12ヶ月間の数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月と12月にピークを迎え、単価は8月と9月に高値を記録しています。</p>					
キャベツ	16年	12,198	107	138	102	84	愛知 45%
	17年	12,365	110	73	108	150	千葉 35%
	18年	13,105	42	34	46	45	神奈川 8%
	19年	12,845	70	70	72	67	茨城 8%
	20年	12,536	100	112	100	88	(愛知産比率 45%)
	5ヵ年平均 21年見通し	12,900	49	42	50	55	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>本県からの入荷が増加して関東産地との競合期となる。愛知は10月の台風被害が少なく順調。千葉の生育は概ね順調。神奈川は春系キャベツの作付面積が増加、生育は概ね順調。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの12ヶ月間の数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は4月と5月にピークを迎え、単価は4月に高値を記録しています。</p>					
ほうれんそう	16年	2,004	358	468	330	300	群馬 32%
	17年	1,956	474	317	460	676	埼玉 21%
	18年	2,061	335	281	402	327	千葉 20%
	19年	2,032	367	381	369	352	茨城 18%
	20年	2,043	360	413	350	320	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 21年見通し	2,100	340	350	330	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。群馬は天候不順の影響で7日程度の遅れ。埼玉、千葉、茨城の生育は概ね順調で品質も良好である。 入荷量はわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの12ヶ月間の数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月にピークを迎え、単価は8月に高値を記録しています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	16年	1,193	295	310	263	314	愛知 21%
	17年	1,302	345	266	302	455	静岡 13%
	18年	1,314	266	257	274	266	群馬 10%
	19年	1,385	356	368	329	369	鳥取 9%
	20年	1,442	310	303	292	337	
	5カ年平均	1,327	315	301	293	349	
ぎ	21年見通し	1,400	320	280	300	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>白ねぎの主産地が富山に代わり静岡に。静岡は台風の影響が大きく、数量は減少する見込み。他の産地は平年並みの出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
しゅう	16年	1,628	215	282	215	176	兵庫 47%
	17年	1,682	245	135	241	378	愛知 17%
	18年	2,400	151	114	159	175	静岡 16%
	19年	1,959	180	174	188	178	茨城 5%
	20年	1,607	282	294	259	296	
	5カ年平均	1,855	208	191	207	234	
ス	21年見通し	2,000	170	150	170	190	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城がほぼ終了し、兵庫淡路産が主産地に。台風の影響もなく生育は順調で、大きな問題もなく、順調な出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き	16年	1,547	268	240	275	294	愛知 40%
	17年	1,240	359	272	361	456	宮崎 23%
	18年	2,316	221	166	233	276	高知 21%
	19年	1,304	383	322	375	452	鹿児島 16%
	20年	1,267	408	394	398	433	
	5カ年平均	1,535	311	262	314	365	
り	21年見通し	1,300	390	350	380	450	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は宮崎、高知、鹿児島、愛知など。宮崎、高知、鹿児島の作付面積は横ばいで順調な出荷を見込む。愛知に台風の影響が若干出てくる。</p> <p>入荷量は前年を大幅にわずかに上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	16年	6,402	220	238	212	212	千葉 28%
	17年	6,505	230	174	208	298	埼玉 19%
	18年	6,633	183	185	180	184	茨城 14%
	19年	6,486	258	268	235	270	群馬 12%
	20年	6,826	196	207	172	209	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,570	217	214	201	234	
ぎ	21年見通し	6,700	230	250	230	210	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は概ね順調であるが中心で細めの予想。埼玉の生育は概ね順調であるが、一部で乾燥による生育遅れがある。群馬の生育も順調である。 入荷量は平年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
し た ス	16年	7,316	214	281	214	173	静岡 29%
	17年	7,206	263	141	256	403	茨城 19%
	18年	8,651	161	126	170	179	兵庫 13%
	19年	8,322	183	178	190	181	香川 11%
	20年	7,544	262	265	246	275	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	7,808	214	196	213	238	
ス	21年見通し	7,800	165	150	170	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>静岡からの入荷が本格化し、香川、兵庫からの入荷も続く。静岡は台風の影響で定植が遅れたものの天候に恵まれ概ね順調な生育。香川は前進気味で大玉傾向。兵庫は定植時の降雨で定植が遅れ中旬以降に出荷がまとまる見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き ゆ う り	16年	5,568	285	245	291	326	宮崎 34%
	17年	4,976	380	294	373	476	千葉 21%
	18年	4,276	532	379	464	774	高知 18%
	19年	4,813	394	342	381	462	埼玉 13%
	20年	4,949	423	413	408	451	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,916	396	331	379	486	
り	21年見通し	5,050	400	380	420	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>西南暖地からの入荷が増加して関東産地との競合期となる。宮崎、高知の入荷量は11月の曇雨天の影響で減少し、今後も天候次第。千葉の促成物は回復しており、平年並。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	536	323	365	327	265	愛知 50%
	17年	426	366	353	379	366	熊本 46%
	18年	445	365	337	375	381	高知 2%
	19年	441	359	370	363	343	鹿児島 1%
	20年	427	355	349	357	359	
	5カ年平均	455	352	355	359	339	
	21年見通し	440	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、千両が愛知を主体に一部鹿児島、長なすは熊本、夏秋ものは終了。愛知、熊本とも作付面積は減少しているが、作柄は良好。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
ト マ ト	16年	804	441	519	387	426	愛知 37%
	17年	834	411	401	403	431	熊本 32%
	18年	1,098	260	320	252	209	三重 20%
	19年	825	424	539	400	355	岐阜 9%
	20年	866	337	395	313	308	
	5カ年平均	885	367	427	344	337	
	21年見通し	1,000	280	250	280	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、熊本が入荷量を増し、他に愛知、岐阜で三分する。秋冬ものに移行、順調な出荷を見込む。年内は、台風の影響は少ない。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	16年	202	806	788	770	855	愛知 51%
	17年	218	775	685	771	851	熊本 39%
	18年	271	486	546	414	505	和歌山 8%
	19年	228	793	844	857	697	
	20年	228	685	758	646	667	
	5カ年平均	229	698	716	679	703	
	21年見通し	250	500	400	500	600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、愛知を中心に、他に熊本。東三河は台風の影響が若干あり、入荷量は減少することが予想される。熊本の生育は順調。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	2,368	384	429	388	337	高知 60%
	17年	2,125	399	422	405	371	福岡 18%
	18年	1,962	425	246	444	408	熊本 8%
	19年	2,071	400	416	388	395	
	20年	2,051	400	399	407	393	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	2,115	401	385	405	379	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,000	410	450	410	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知の生育は11月の曇雨天と冷え込みで着果がやや不良であるが中下旬にかけて回復する見込み。福岡も天候不順で草勢が安定せず、平年よりやや少ない予想。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ト マ ト	16年	4,444	487	585	422	458	熊本 39%
	17年	4,474	433	415	416	468	愛知 20%
	18年	5,973	284	343	274	244	千葉 11%
	19年	4,561	447	557	434	377	静岡 8%
	20年	4,652	396	462	364	367	(愛知産比率 20%)
	5ヵ年平均	4,821	402	464	375	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,750	380	400	380	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>本県や熊本からの入荷が本格化する。熊本の生育は前進傾向で順調であるが、12月も安定した入荷が見込まれる。本県は台風の影響はなくなり安定出荷が見込まれる。千葉は天候不順で小玉傾向。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	16年	854	820	793	783	880	愛知 32%
	17年	976	740	625	739	851	熊本 23%
	18年	1,303	485	532	438	491	千葉 13%
	19年	1,027	788	818	848	706	宮崎 9%
	20年	1,053	654	709	609	652	(愛知産比率 32%)
	5ヵ年平均	1,043	681	684	666	697	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,050	540	520	540	560	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>本県、熊本と関東産地からの入荷が中心となる。本県の生育は台風後の好天候で回復し11月は安定出荷があり、12月も平年並みの見込み。熊本も前進出荷で潤沢な入荷があり、12月も安定した入荷が見込まれる。入荷量は平年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	16年	551	403	388	444	385	鹿児島 43%	
	17年	561	360	358	357	365	宮崎 37%	
	18年	370	439	313	407	697	高知 18%	
	19年	435	355	380	338	352	0 0%	
	20年	350	538	491	579	527	(愛知産比率 0%)	
マン	5カ年平均	453	410	383	417	446	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	400	450	400	450	500		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は鹿児島、宮崎、高知など。作付面積は平年並み。昨年は天候不順で入荷量少なかったが、今年は平年並みの作況が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						
ばれいしょ	16年	3,337	87	89	89	82	北海道 81%	
	17年	3,613	96	94	96	97	長崎 19%	
	18年	3,551	97	98	100	92	(愛知産比率 0%)	
	19年	3,062	82	78	84	84		
	20年	3,068	87	89	90	80		
いしょ	5カ年平均	3,326	90	90	92	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	2,500	120	120	120	120		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は北海道中心、一部長崎。北海道は作柄不良で年内分も少ない。長崎は11月下旬からの干ばつによる生育不良により小玉傾向、収量は90%程度。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
たまねぎ	16年	5,936	75	77	78	66	北海道 99%	
	17年	5,881	79	86	76	75	兵庫 1%	
	18年	5,872	75	75	82	69	中国 1%	
	19年	5,832	66	70	66	63	愛知 0%	
	20年	6,094	64	67	66	58		
ねぎ	5カ年平均	5,923	72	75	74	66	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	5,300	100	95	100	105		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地はほぼ北海道。作柄は不良で小玉傾向。作柄が悪かった昨年からさらに入荷量が減る見込み。数量不足から、価格も上がって行くことが見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	1,657	388	376	410	382	茨城 54%
	17年	1,752	331	286	333	375	宮崎 20%
	18年	1,571	425	275	390	685	高知 14%
	19年	1,579	366	377	360	358	鹿児島 10%
	20年	1,642	493	488	522	457	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,640	400	360	403	449	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,700	400	330	430	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と西南暖地からの入荷が中心となる。茨城は作付面積が微増。成り疲れで草勢が落ちたが回復傾向にある。宮崎、高知の生育は曇雨天で着果が不良であったが上旬には回復する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	16年	6,888	101	101	104	97	北海道 92%
	17年	7,426	103	101	103	105	長崎 7%
	18年	7,640	111	110	110	114	(愛知産比率 0%)
	19年	8,094	89	85	90	91	
	20年	8,093	97	97	96	97	
いしょ	5カ年平均	7,628	100	99	100	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,300	130	150	140	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は収穫作業は終了。夏場の天候不順の影響で商品化率が低く小玉傾向であるため平年を下回る入荷となる。長崎は定植後の天候不順で生育遅れがみられる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	10,276	86	83	88	88	北海道 98%
	17年	10,523	98	95	98	100	中国 2%
	18年	10,313	87	85	87	88	(愛知産比率 -%)
	19年	10,009	75	74	76	77	
	20年	10,509	74	75	74	73	
ねぎ	5カ年平均	10,326	84	82	85	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,900	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。収穫は終了し、在庫から出荷調整をする時期に入った。中晩生品種の入荷となるが、夏場の天候不順の影響で小玉傾向にある。品質面では特に問題ない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

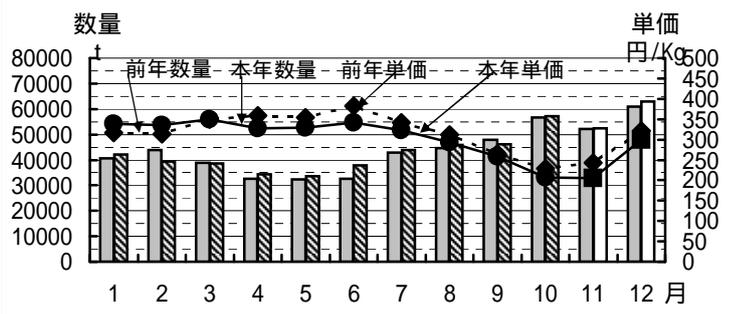
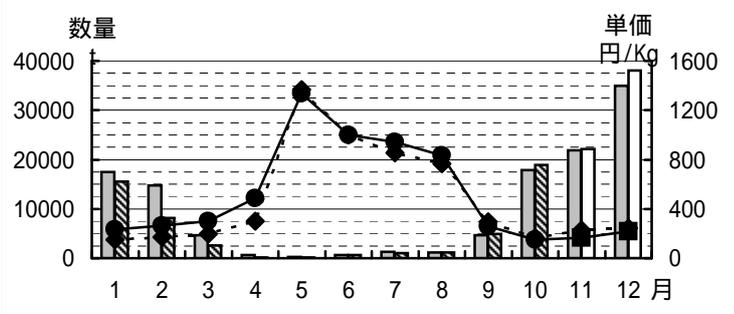
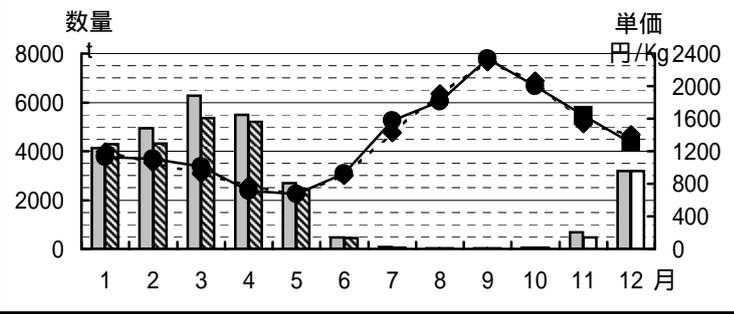
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	16年	17,819	282	275	290	282	静岡 19%
	17年	17,892	237	192	250	278	愛知 18%
	18年	14,197	339	297	341	380	フィリピン 15%
	19年	15,207	269	230	276	302	和歌山 9%
	20年	13,535	303	272	307	331	
	5カ年平均	15,730	283	-	-	-	
	21年見通し	15,900	230	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんごに加え、いちごの入荷が本格化。柿は切り上がり、上旬若干量残る。みかんは作況良く豊作。りんごは、台風の影響で下級品が出る。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
み か ん	16年	7,557	198	194	194	205	静岡 40%
	17年	8,162	147	128	129	182	愛知 33%
	18年	6,001	295	281	286	313	和歌山 18%
	19年	7,671	152	138	137	176	熊本 5%
	20年	6,155	244	230	240	259	
	5カ年平均	7,109	201	188	190	221	
	21年見通し	7,000	160	150	160	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡を中心に、愛知、和歌山等から入荷。表年で作柄は良好、早生品種は12月にピーク、中旬から青島が出回り、L玉中心。酸高、糖度高。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
い ち ご	16年	845	1,348	1,251	1,398	1,362	愛知 58%
	17年	651	1,770	1,198	1,790	2,259	熊本 13%
	18年	740	1,437	1,148	1,433	1,636	三重 13%
	19年	636	1,686	1,429	1,611	1,912	鹿児島 6%
	20年	717	1,330	1,126	1,284	1,556	
	5カ年平均	718	1,499	1,227	1,491	1,717	
	21年見通し	730	1,300	1,100	1,300	1,400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>地元愛知を中心に、熊本、三重等から入荷。生育は好天により順調で、前倒し出荷が予想され、年末は入荷量が減少する。前年より入荷量多いが、小玉傾向。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	62,868	329	318	346	322	愛媛 27%
	17年	68,964	275	231	379	311	和歌山 10%
	18年	55,801	381	339	386	411	長崎 8%
	19年	63,636	307	267	322	324	熊本 8%
	20年	60,870	322	292	324	345	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	62,428	321	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	63,000	300	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは、台風被害もなく入荷順調で上位等級多い見込み。全体としては年末ギフト需要など期待大きい、不景気感強く、苦しい販売が予想される。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p> 					
みかん	16年	38,300	214	220	222	181	愛媛 44%
	17年	40,780	167	149	160	206	和歌山 17%
	18年	31,117	289	284	292	187	長崎 13%
	19年	39,384	185	179	190	291	熊本 10%
	20年	35,101	243	242	245	243	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	36,936	216	211	218	223	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	38,000	220	200	220	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛中心に和歌山等から入荷する。今年は表年にあたり、各産地とも生育順調だが、小玉果比率が高くM、Sサイズ中心。食味良好も不足感なく価格は低調な見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p> 					
いちご	16年	3,412	1,467	1,362	1,501	1,504	栃木 43%
	17年	3,071	1,802	1,290	1,813	2,213	福岡 16%
	18年	3,326	1,525	1,235	1,429	1,770	茨城 12%
	19年	3,128	1,683	1,434	1,538	1,982	佐賀 11%
	20年	3,197	1,402	1,270	1,276	1,627	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	3,227	1,572	1,318	1,508	1,811	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	3,200	1,300	1,200	1,200	1,500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、福岡、茨城等中心に入荷。栃木の生育は順調で増減の波なく堅調な入荷が見込まれる。福岡も生育順調で年内の出荷量が例年になく多い見込み。茨城も生育順調だが病害の影響が懸念される。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p> 					

切花・鉢花の12月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場 11月25日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	16年	1,262	60	
		17年	1,322	66	
		18年	1,453	46	
		19年	1,445	59	
		20年	1,599	47	
	5ヶ年平均	1,416	55		
21年見通し	1,400	58			
概要	愛知、沖縄、大分等から入荷。台風18号の影響で愛知産はやや少なめ、他産地は前年並みの入荷。中心品種は白系が「神馬」「精興の誠」黄系は「精興の秋」「精興光明」。価格は、前半の動きはやや鈍いと思われるが、後半は、年末需要により活発な動きとなろう。				
小 ぎ	実績	16年	1,020	31	
		17年	1,033	34	
		18年	908	27	
		19年	1,070	30	
		20年	1,133	24	
	5ヶ年平均	1,033	29		
21年見通し	1,100	30			
概要	沖縄を中心に、愛知、静岡から入荷。主力の沖縄は台風の被害もなく生育は順調で、前年を上回る入荷、愛知、静岡は台風の影響で少なめの入荷が予想される。価格は、前半の動きがやや鈍いと思われるが、後半は需要の高まりから堅調な動きとなろう。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	16年	624	43	
		17年	545	53	
		18年	657	46	
		19年	571	46	
		20年	582	42	
	5ヶ年平均	596	46		
21年見通し	580	45			
概要	愛知を中心に長野、和歌山等から入荷。全体的に生育は順調に推移し、一部台風被害を受けたものの回復し、影響はない。スプレー系は作付面積の減少により、年末需要の高まる後半に品薄気味となろう。価格は、前半軟調も、後半は年末需要により堅調な動きとなろう。				
か す み	実績	16年	98	87	
		17年	85	120	
		18年	138	43	
		19年	76	108	
		20年	87	76	
	5ヶ年平均	97	82		
21年見通し	85	80			
概要	和歌山、熊本、高知等から入荷。各産地とも生育は順調もやや前進傾向で推移。品種は「アルタイル」「ホワイトベール」「マリーベール」等が中心。各産地とも作付面積は減少し、前年をやや下回る入荷が予想される。価格は前半軟調な動きも、後半は年末需要もあり、堅調な動きとなろう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	16年	252	174	
		17年	220	217	
		18年	259	173	
		19年	234	196	
		20年	221	177	
	5ヶ年平均		237	187	
	21年見通し		230	180	
概要	高知、岐阜、愛知、新潟等から入荷。てっぼうゆりは高知、鹿児島を中心に入荷し、生育は順調。オリエンタル系は高知を中心に入荷。全体的に前進傾向で推移し、てっぼうゆり、すかしゆりは前年並みの入荷が予想される。				
洋 ら ん	実績	16年	402	77	
		17年	331	100	
		18年	371	87	
		19年	361	98	
		20年	296	105	
	5ヶ年平均		352	92	
	21年見通し		320	100	
概要	高知、宮崎、徳島、愛知等と輸入物が入荷。国内産のシンビジウム、オンシジウムは生育順調で、オンシジウムの入荷は前年並み、シンビジウムは若干の前進がみられ、前年を上回る入荷が予想される。輸入ものはデンファレを中心に順調な入荷。価格は、前半は弱めの動きも、後半は堅調な動きとなろう。				
ば ら	実績	16年	386	65	
		17年	363	75	
		18年	394	73	
		19年	367	73	
		20年	342	80	
	5ヶ年平均		370	73	
	21年見通し		330	78	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山等から入荷。長野は中旬には終了。各産地とも生育は順調だが作付面積が減少しており、前年を下回る入荷が予想される。価格は、前半動きが鈍く苦しい展開も、後半は年末需要もあり、動きは活発となろう。				
枝 も の	実績	16年	2,299	51	
		17年	2,422	47	
		18年	2,346	53	
		19年	2,315	56	
		20年	2,359	47	
	5ヶ年平均		2,348	51	
	21年見通し		2,300	45	
概要	愛知、静岡、長野等から入荷。正月用花材の松は愛媛、茨城を中心に前年並みの入荷。千両は産地により品質の差がみられるものの入荷は安定。ボケ、ユキヤナギ等の促成ものは長野から前年並みの入荷。価格は、稽古用花材の動きは前半までで、後半は正月用花材が堅調な動きとなろう。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	16年	19,331	818	
		17年	15,251	893	
		18年	12,336	969	
		19年	15,182	879	
		20年	14,820	728	
	5ヶ年平均		15,384	852	
	21年見通し		14,000	730	
概要	昨年同様、耐寒性のあるストリクタ、ヒロバドラセナ等の8号鉢以上の入荷となりそう。入荷量は昨年並みか。 昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(50%)、2位鹿児島(33%)、3位沖縄(8%)となっている。				
シャコバサボテン	実績	16年	25,526	554	
		17年	22,916	486	
		18年	15,317	526	
		19年	27,626	399	
		20年	18,162	532	
	5ヶ年平均		21,909	493	
	21年見通し		17,000	500	
概要	入荷量はやや減少か。お歳暮需要などが若干あるが、全体的に厳しい動きが予想される。 昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(99%)、2位茨城(1%)となっている。				
シクラメン	実績	16年	815,528	447	
		17年	756,722	396	
		18年	663,252	449	
		19年	698,717	464	
		20年	718,327	403	
	5ヶ年平均		730,509	431	
	21年見通し		700,000	400	
概要	入荷量はやや減少か。入荷のピークは上旬となりそう。お歳暮需要が中心で、高額商品が取引きされる。5号鉢は相対取引が主体となり安定相場か。 昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(33%)、2位長野(18%)、3位岐阜・山梨(各11%)となっている。				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンピジュウム	実績	16年	174,944	2,695	
		17年	155,475	2,845	
		18年	156,441	2,802	
		19年	162,428	2,765	
		20年	167,941	2,305	
	5ヶ年平均		163,446	2,678	
	21年見通し		160,000	2,300	
概要	<p>秋の気候が良く、入荷が前倒し傾向となるため、入荷量は昨年より減少か。アーチタイプ及びテーブルシンピ（小鉢）に人気が集まりそう。逆にスタンダードの直立仕立ては苦戦が予想される。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（52%）、2位徳島・高知（各11%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	16年	45,851	190	
		17年	36,848	183	
		18年	36,477	162	
		19年	41,736	206	
		20年	37,078	204	
	5ヶ年平均		39,598	190	
	21年見通し		37,000	200	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。4号鉢以下が主体で、5号鉢以上は関東産が少量入ってくる。相場は中値での値動きとなりそう。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（52%）、2位岐阜（44%）、3位茨城（3%）となっている。</p>				
パンジー	実績	16年	822,262	48	
		17年	719,237	38	
		18年	648,083	30	
		19年	660,540	46	
		20年	977,954	29	
	5ヶ年平均		765,615	38	
	21年見通し		970,000	30	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。気温の低下とともに花咲きが鈍り、需要が減少していくので、開花に合わせて早めの出荷をお願いしたい。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（44%）、2位奈良（20%）、3位三重（16%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2009年)

1 輸入実績

品名	9月						9月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	45,880	131.3	6,234,278	106.7	136	81.3	415,662	103	41,886,374	94	101	94.9
トマト	289	111.0	69,886	101.7	242	91.6	1,544	115	412,515	100	267	75.8
たまねぎ	21,335	144.9	822,478	167.1	39	115.4	147,643	105	5,600,489	118	38	107.6
にんにく	1,890	116.0	224,599	136.3	119	117.5	15,159	100	1,400,499	92	92	91.3
ねぎ	2,916	93.4	357,958	114.9	123	123.0	23,484	94	2,486,084	94	106	88.6
ブロッコリー	4,712	127.1	747,045	106.6	159	83.9	25,407	96	4,139,678	91	163	99.7
結球キャベツ	1,171	832.4	45,030	1014.0	38	121.8	12,477	355	449,332	320	36	79.8
にんじん・かぶ	4,917	136.4	248,566	130.5	51	95.7	33,057	94	1,778,359	71	54	76.1
ごぼう	3,909	91.9	165,790	78.2	42	85.1	26,967	82	1,173,708	67	44	80.9
えんどう	19	25.7	3,739	20.0	194	78.0	672	85	140,665	86	209	106.2
アスパラガス	632	160.0	398,638	148.2	631	92.6	7,245	111	3,818,772	98	527	94.8
まつたけ	477	121.3	2,014,867	89.6	4,224	73.8	1,120	136	3,720,572	97	3,321	-
しいたけ	178	114.2	46,090	101.9	259	89.2	2,901	95	675,465	90	233	97.7
かぼちゃ	96	95.6	13,613	85.1	141	89.0	81,908	103	4,792,704	80	59	75.8
果実(生鮮・乾燥)	154,481	113.4	16,801,931	97.7	109	86.1	1,583,858	113	178,570,855	101	113	101.6
バナナ	104,297	110.4	7,714,851	92.3	74	83.6	979,151	125	76,159,196	128	78	130.3
パイナップル	11,675	111.1	753,611	116.2	65	104.6	109,674	96	7,394,175	104	67	113.4
レモン	4,298	94.9	463,001	77.5	108	81.7	39,597	84	4,454,426	48	112	49.4
オレンジ	8,390	127.0	712,821	108.7	85	85.6	85,291	98	8,264,474	94	97	96.0
グレープフルーツ	3,175	104.8	146,663	67.1	46	64.0	158,397	98	13,792,419	95	87	82.4
メロン	2,406	113.4	184,004	96.1	76	84.8	24,557	95	2,451,304	84	100	81.5
ぶどう	136	148.8	32,737	133.6	241	89.8	5,580	108	903,791	83	162	65.1
キウイ	7,787	170.5	2,078,831	134.8	267	79.1	53,981	107	16,097,635	106	298	121.2
いちご	644	92.0	559,107	77.5	869	84.2	1,990	95	1,741,106	81	875	102.4
切花(生鮮・乾燥)	4,327	107.3	3,196,899	98.3	739	91.6	27,522	107	20,438,122	97	743	92.7
鳥獣肉類	121,035	84.0	50,764,357	70.2	419	83.5	1,203,584	91	517,722,834	82	430	93.0
牛肉(くず肉含む)	36,378	99.5	14,573,804	73.5	401	73.9	355,724	103	138,031,502	81	388	81.6
豚肉(くず肉含む)	50,648	76.5	26,593,421	75.8	525	99.0	533,839	87	279,835,883	87	524	99.6
鶏肉	28,258	79.9	5,888,243	47.0	208	58.9	246,666	80	61,203,398	66	248	97.0
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	128,313	92.4	69,002,001	75.8	538	82.0	1,285,215	91	678,364,928	82	528	91.0
まぐろ類	16,446	86.7	12,366,561	61.2	752	70.6	159,571	98	141,429,361	84	886	69.8
さば・さんま・あじ・いわし	4,570	63.9	612,162	55.2	134	86.3	75,193	91	12,855,802	92	171	87.7

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	2,805	163.7	1,170,463	150.4	417	91.9	14,322	86	4,713,205	78	329	106.2
うんしゅうみかん	8	81.9	8,990	107.9	1,129	131.8	124	62	91,051	78	735	182.2
りんご	544	409.0	160,703	405.5	295	99.1	11,029	82	2,703,049	68	245	83.7
なし	1,432	167.9	570,394	157.6	398	93.8	1,546	135	622,892	123	403	75.6
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	271,663	105.1	-	-	-	-	2,154,027	80	-	-
緑茶	146	89.8	267,744	86.6	1,836	96.5	1,418	114	2,482,720	101	1,751	85.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年 5月	100.6	105.7	104.3	106.0	105.1
	6月	100.4	101.6	105.8	105.5	103.9
	7月	100.1	97.0	97.6	105.4	104.4
	8月	100.4	110.4	105.3	105.0	105.3
	9月	100.4	111.3	101.8	105.1	103.6
愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8	104.0
	21年 5月	101.3	100.0	101.3	101.5	105.4
	6月	101.2	100.0	104.3	100.8	104.5
	7月	100.6	96.9	100.4	101.3	104.0
	8月	101.0	109.2	108.7	103.1	104.3
	9月	101.0	110.3	107.3	101.5	102.3

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年 5月	94.2	98.6	100.7	82.4	100.0
	6月	93.9	98.4	98.8	101.0	101.2
	7月	92.1	98.5	92.4	105.1	100.8
	8月	97.8	98.3	107.8	100.5	99.0
	9月	96.3	99.5	103.4	78.8	98.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年 5月	2,240	236	229	572	380	302	142	306	180	401	603	184	467
6月	2,240	150	190	643	323	311	151	325	192	412	496	186	490
7月	2,240	140	161	626	305	320	147	361	199	399	559	184	524
8月	2,240	136	187	663	542	427	210	359	231	487	562	182	708
9月	2,240	166	217	661	465	318	189	372	232	473	759	224	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g					
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年 5月	-	296	345	121	263	723	611	177	159	328	223	750	483
6月	-	296	358	-	266	640	600	160	164	318	223	721	477
7月	-	296	394	-	254	724	600	150	158	305	219	714	494
8月	-	309	398	-	254	752	611	165	182	318	224	780	487
9月	1,038	332	408	-	239	692	609	163	170	320	220	743	477

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 438
平成21年12月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417